

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 24日	
青森県知事 殿	
提出者	
住 所 青森県北津軽郡中泊町大字豊島字豊本 18	
氏 名 株式会社 青森舗道	
代表取締役 工藤浩	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0173-53-2232	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社青森舗道
事業場の所在地	青森県五所川原市金木町川倉宇田野 155-208
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	令和6年度工事高 644,000 千円
③ 従業員数	28 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各排出事業場 ↓ 収集運搬・自己運搬 ↓ 各処分場 【がれき類・廃プラスチック類・木くず】破碎

（日本産業規格 A 列 4 番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

【事業所】 産廃収集運搬委託の契約締結
産廃処理委託の契約締結

↓

【各排出場所】 現場担当者が廃棄物の状況把握・管理
マニフェスト交付
委託業者による適正な運搬
運搬修了確認

↓

【各処分場】 現場担当者が廃棄物の処理状況把握
マニフェスト管理
処理完了確認

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	1,318. 21 t	1. 48 t
	(これまでに実施した取組)		
	安全な運搬・処理のため、適正な業者と委託契約を行う。 リサイクルが可能な品目は再資源化。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	1,200. 00 t	1. 20 t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで同様、再資源化・処理コスト削減の向上を図る。 資材のロス・無駄遣いを防ぐ。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【がれき類・廃プラスチック類】 社員への分別指導をし、適切な分別に努めている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【がれき類・廃プラスチック類】 これまで同様、指導の継続・分別を徹底する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	1. 76 t	－ t
	（これまでに実施した取組） 安全な運搬・処理のため、適正な業者と委託契約を行う。 リサイクルが可能な品目は再資源化。		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	1. 56 t	－ t
	（今後実施する予定の取組） これまで同様、再資源化・処理コスト削減の向上を図る。 資材のロス・無駄遣いを防ぐ。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アスファルト	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	1318. 21 t	1. 48 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1318. 21 t	1. 48 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）		
	適正な処理委託契約をし、再資源化に努めている。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

③ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

③ 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	1.76 t	－ t
	優良認定処理業者への 処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への 処理委託量	1.76 t	－ t
	認定熱回収業者への 処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
	適正な処理委託契約をし、再資源化に努めている。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	1,200. 00 t	1. 20 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,200. 00 t	1. 20 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) これまで同様、再資源化に努める。 分別を徹底し処理コスト削減につなげる。		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全 処 理 委 託 量	1. 56 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1. 56 t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで同様、再資源化に努める。 分別を徹底し処理コスト削減につなげる。		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。